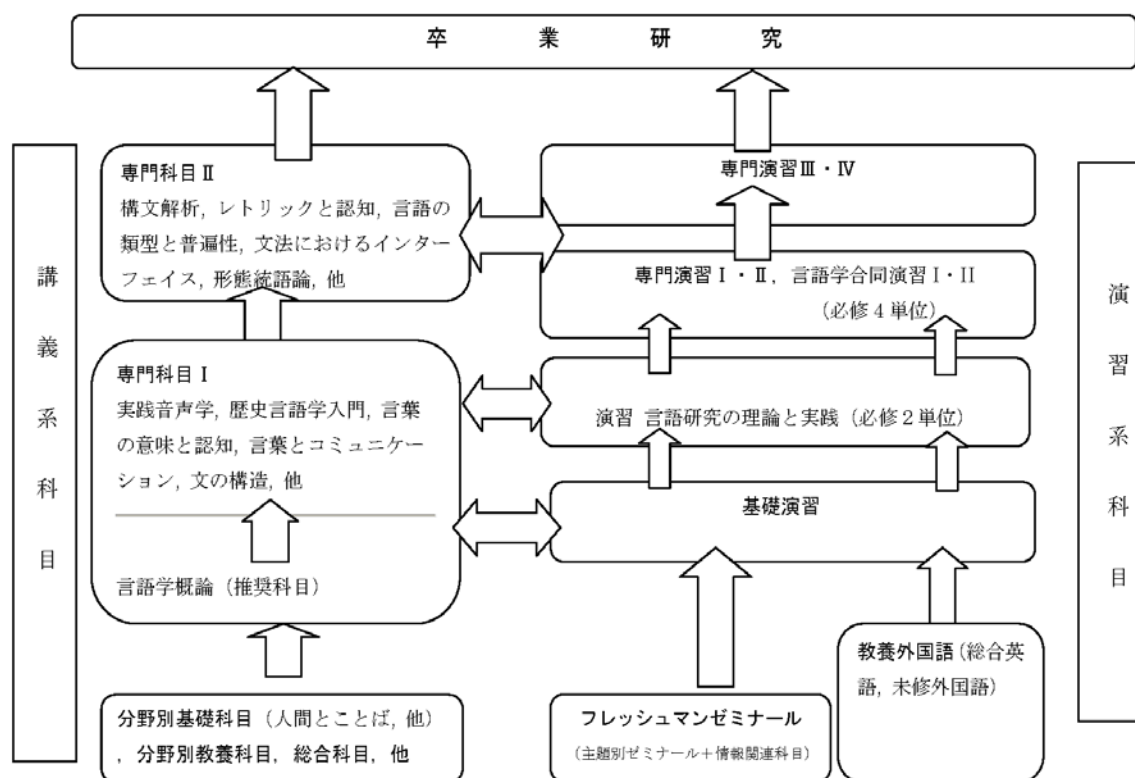


言語コミュニケーションコースのカリキュラムについて

(1) 言語コミュニケーションコースのカリキュラム構成

2年次前学期においては、他コースの概論的専門科目を履修して幅広い視野を身につけると同時に、言語学概論（コース推奨科目）を履修し、総合的な知識の修得に努め、専門分野へ進む基礎的な学力を身につけます。2年次後学期からは、講義系科目の履修と合わせて、コース必修科目の言語研究の理論と実践を履修して、専門知識の深化とディベートや論証の力を育成します。3年次からはこれらに加えて専門演習や言語学合同演習が必修となり、卒業研究作成に向けて必要な知識・方法論を身につけます。

(2) 言語コミュニケーションコースのカリキュラムマップ



(3) 言語コミュニケーションコースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年次	通年	①コースでの学修に必要な汎用的な基礎的能力及び語学力を身につけている。	①フレッシュマン・ゼミナール、 教養外国語科目（総合英語、 未修外国語）分野別基礎科目 （人間とことば、他）
2 年次	前学期	①言語学の全体像を概観し、“各論”のあらましを知る。 ②研究に必要な検索能力、文献読解能力、発表技能の基礎ができてきている。 ③言語とコミュニケーションの基本概念を理解している（通年）。 ④言語学の“各論”関連の授業を履修し、自らの問題意識と取り組む際の基本的ツールを修得している（通年）。	①言語学概論（推奨科目） ②基礎演習 ③実践音声学、言語音の構造、 語の形態と構造、文の構造、 ことばの意味と認知、ことば とコミュニケーション、歴史 言語学入門、言語学フィール ドワーク
	後学期	①言語研究の基本的姿勢を体得して自らの問題意識との取り組みに際して活かせる。	①言語研究の理論と実践（必修）
3 年次	前学期	①年次までに修得した言語研究の基本ツールと言語理論を活用し、自ら興味を抱く言語現象や言語理論を研究テーマとして育て上げ、教師陣や同僚学生との間の学術的コミュニケーション能力を向上させる（通年）。 ②自ら興味を抱く対象について論理的に説明することができる。 ③専門科目Ⅱの授業を積極的に活用し、自ら問題意識を持つ分野に関しての専門性を深化させる。 ④自らの研究を進める基盤を強化するため、必要に応じ、他コースの授業も含め、専門科目Ⅰの授業を活用する。	①③専門科目Ⅱの選択科目 ②言語学合同演習Ⅰ（必修） ④専門科目Ⅰの選択科目
	後学期	①自ら興味を抱く言語現象や言語理論を研究対象とし、口頭発表を行なえる。 ②前期で鍛えたディベート能力を活かし、自ら興味を抱く研究対象に関して短い論文が作成できる。 ③専門科目Ⅱの選択科目の授業を活用し、専門性を深める。	①②言語学合同演習Ⅱ（必修） ③専門科目Ⅱの選択科目
4 年次	前学期	①設定したテーマ、作成した研究計画に従って、卒業研究の作成に取り組むことができる。	①専門演習Ⅲ 卒業研究、専門科目Ⅱの選択 科目
	後学期	①卒業研究をまとめ、成果を適切に発信することができる。	①卒業研究、専門演習Ⅳ、専門 科目Ⅱの選択科目

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。